

特集：新宿で笑おう！

SHINJUKU★ENTERTAINMENT



新 旧さまざまなエンターテインメントが融合する新宿区には、落語を楽しめる寄席から旬のお笑い芸人がライブを行う劇場、ものまねシヨールレストランまであり、さまざまな笑いを思い切り楽しむことができず。今回は、テレビ番組「笑点」の司会者を務める春風亭昇太さんに末廣亭を案内していただきながら、新宿区の笑いについて聞きました。

寄席の利用方法は？

木戸銭と呼ばれる入場料を払えば、昼または夜の部が終了するまでずっと見ていられます。末廣亭なら、昼夜入れ替えなしなので1日過ごすことも可能(例外あり)。大体飲食OKなので、お弁当を買って行くのもおすすめです。
※寄席によって制度が異なりますので、必ずご確認のうえご来場ください

寄席まめ知識1

寄席ってどんなところ？
落語がメインですが、漫才や手品など各種演芸が楽しめます。江戸時代には、江戸だけで400軒近くあったとか。

ホール

紀伊國屋ホール

人気落語家の出演もあり！

紀伊國屋書店新宿本店ビルの4階にあるホールでは、1964(昭和39)年の開場当時から紀伊國屋寄席を開催。初回のトリは林家三平さんが務めました。
第10回からは古典落語を中心としながら、月1回開催。今年3月15日で、第639回を迎えます。
二つ目、真打の若手、中堅、そしてベテランの5名の落語家が出演し、会場を沸かせます。

寄席まめ知識2

新宿が出てくる落語

現在の新宿区が登場する作品はいくつかありますが、「文違い」もそのひとつ。内藤新宿(現・新宿)の女郎と彼女をめぐる男たちのだましだまされの駆け引きの物語です。

新宿区新宿3-17-7
紀伊國屋書店新宿本店4F
☎03-3354-0141
Ⓞ 公演によって変動します
Ⓟ 不定休
MAP P.10-11 C-3



落語の協会も新宿に！

落語芸術協会

都内ほか全国各地の寄席公演を取り仕切る落語芸術協会は、新宿に事務所を構えています。

昇太メモ

気分転換によく行きます

末廣亭からぶらり散歩

出番まで時間があるときは成覚寺まで散歩するという昇太さん。境内にある戯作者・恋川春町の墓をお参りするのだそう。「駿河小島藩出身の恋川春町と、静岡県出身の僕は同郷仲間。縁を感じます」と言います。



イベントで楽しむ落語もあるよ！

イベント 誰でも気軽に楽しめる

大久保プラザ寄席

大久保スポーツプラザでは、月に1度程度の頻度で寄席を開催しています。初心者の方はもちろん、ツウの方も楽しめる実力派の落語家が登場します。



- 例月寄席 毎月第一月曜日(4月を除く)
10:30開演 10:00開場 料金/400円
 - レガスマつり寄席「落語in和室 特別編」4月7日(土)
13:30開演 13:00開場 料金/300円
 - 四季寄席「夏」6月24日(日)
13:30開演 13:00開場 料金/600円
 - 特別寄席「宵の夏寄席」8月18日(土)
19:00開演 18:30開場 料金/800円
- 会場/大久保スポーツプラザ3F和室(新宿区大久保3-7-42)
☎03-3232-7701 MAP P.16-17 A-2

イベント 初夏の神楽坂が笑いで満ちる

第10回神楽坂落語まつり



明治・大正の時代から寄席や演芸場など庶民芸能の集積地であった神楽坂で、落語まつりを開催して今年で9周年。旬の噺家から落語界の大御までが大集合します。

- 毘沙門寄席 6月23日(土) MAP P.14-15 C-2
出演/昼席(14:00開演)志ん橋、白酒、文菊、志ん五
夜席(18:00開演)燕路、文蔵、三三、こみち
料金/3,000円 会場/毘沙門天善國寺書院(新宿区神楽坂5-36)
- 牛込落語会 6月30日(土) MAP P.14-15 A-2
出演/昼席(14:00開演)橋之助、歌武蔵、喬太郎、菊之丞
夜席(18:00開演)金馬、川柳、金八、つくし
料金/前売3,500円、当日3,700円
会場/新宿区立牛込筆筒区民ホール(新宿区筆筒町15)
お問い合わせ ☎03-6426-1728(事務局)

オリジナルグッズや飲み物を買う売店



昇太メモ

ここは末廣亭の楽屋。柱の前は、その日の「一番偉い噺家」が座るといふ暗黙のルールが、恐れ多くて、自分がトリの日でも僕は座りません！

江戸時代の寄席の風情を残す

唯一の木造建築の定席。椅子席と畳敷きの棧敷席があり、江戸っ子が熱中した寄席の風情を現在に伝えます。人気の落語家が出る時や週末は立ち見になるほど盛況です。落語を中心に、漫才や曲芸などの演芸が楽しめるのも魅力。土曜日に行われる若手落語家が出演する深夜寄席は、落語家になる前の春風亭昇太さんもよく見に来ていました。



新宿区新宿3-6-12 ☎03-3351-2974
Ⓞ 昼の部 12:00~16:30 / 夜の部 17:00~21:00 Ⓟ 12月30日・31日
MAP P.10-11 D-3

寄席

新宿末廣亭

1946(昭和21)年建設、都内で唯一の木造建築の定席。椅子席と畳敷きの棧敷席があり、江戸っ子が熱中した寄席の風情を現在に伝えます。人気の落語家が出る時や週末は立ち見になるほど盛況です。落語を中心に、漫才や曲芸などの演芸が楽しめるのも魅力。土曜日に行われる若手落語家が出演する深夜寄席は、落語家になる前の春風亭昇太さんもよく見に来ていました。



笑いのまち・新宿で落語を見よう！

新宿区地域文化財の第1号に認定されています

一階が満席になったときの開放される二階席。眺めがよくこちらもおすすめ

笑 天

特集：新宿で笑おう！

だ ま だ あ る

漫才・コント・ショー

新宿にはお笑いのための劇場も揃っています。
新宿に来て 大笑いしよう！



ホール

新宿角座

2011年開業。座席数119を誇る、松竹芸能の劇場。角座の名は、江戸時代に大阪道頓堀に存在した芝居小屋に由来しています。

お気に入りの若人にさしあげることができる



受付にあるスピーカーの裏にはよみこ有野の落書きが！



支配人コメント

笑いのすべてを楽しむなら新宿角座へ！

1～5年目の若手芸人によるお笑いライブをメインに、落語会やアイドルの公演も行っています。漫才、コント、落語、アイドル、様々なジャンルの公演を楽しむことができ、舞台と客席の距離も近いので、生のライブならではの臨場感が体感できます。

新宿区新宿3-20-8 WaMallトップスハウス4F ☎03-3226-8081

☎公演によって変動します ☎不定休 MAP P.10-11 C-2



ショーレストラン

そっくり館 キサラ

ものまね芸とビュッフェを楽しめるショーレストラン。1992年開店で、160名ものものまねタレントが在籍しています。テレビで活躍する人気タレントが出演することも！

抱腹絶倒のものまね館
ショーと食事で大満足！



支配人コメント

爆笑間違いなし！ そっくりものまねタレントの宝庫

食事をしながらものまねを楽しめるキサラでは、来てくださったお客様が最大限楽しめるように、タレントもスタッフもいろんなネタを用意しています。エンターテインメントを楽しみたいならぜひ「そっくり館 キサラ」へ！

新宿区新宿3-17-1 いさみやビル8F ☎03-3341-0213

☎18:00～23:00 ☎無休 ※予約は1か月前から受付 MAP P.10-11 C-3



ショーバブ

黒鳥の湖

美しいダンサーたちによる本格的なダンスから、お笑いライブまで、めまぐるしく繰り広げられる圧巻のエンターテインメントショーをお楽しみください。



支配人コメント

ニューハーフも女性も男性もダンサーたちが舞い踊る新エンターテインメント

日本一の繁華街・歌舞伎町で、臨場感溢れるショーを開催しています。老若男女、あらゆるお客様にご来店いただいています。初めての方、お酒が飲めない方でも大丈夫。皆様にお会いできる日を心より楽しみにしております！

新宿区歌舞伎町2-25-2 アラオビルB2F ☎03-3205-0128

☎18:00～入場/19:30～ショータイム MAP P.10-11 C-2
☎21:00～入場/22:00～ショータイム ☎日



ホール

ルミネtheよしもと

毎日豪華なタレントによる公演で漫才・コント・スペシャルコメディや新喜劇など最高の「お笑い」をお届け。東日本の吉本興業の劇場で最大のキャパシティを誇ります。

吉本のお笑いならここ！
年中笑いの絶えない大劇場

入り口では中川家と博多華丸・大吉の写真がお出迎え



支配人コメント

お腹を抱えて笑える！ 生ならではののめりさを体感

若手からテレビに出演している人気の芸人まで幅広く出演しています。生ならではの臨場感やお客様との絡みも舞台で見る魅力の一つ。よしもとグッズのショップも充実。新宿に立ち寄った際には、ぜひ「ルミネtheよしもと」へ遊びに来てください！

新宿区新宿3-38-2 ルミネ2 7F ☎03-5339-1112

☎平日 11:00～21:30 (チケット販売開始11:00) MAP P.10-11 C-3
☎土日祝 9:30～21:30 (チケット販売開始9:45) ☎無休

笑いと芸術のまち
新宿区は



大学生のとき、月に1度末廣亭の深夜寄席を見て、そのあと新宿でちよつと飲んで帰るのが僕にとっての最高の贅沢でした。いつも観客席から見ていたから、初めて末廣亭の高座に上がったときは、とても不思議な気持ちになりました。

落語って、目の前のお客様の反応を見ながら話し方やネタを変えていく、いわば生もの。だからやっぱり、生で見たいですね。

僕自身、映画や音楽ライブ、演劇が好きなのもあって、よく新宿に見に来ています。いろいろな芸術を生で見るのが結果的に落語の勉強にもなっているので、落語家としての僕は新宿で育まれたといえるかもしれません。

唯一無二の魅力あふれる新宿区

牛込神楽坂には、大師匠にあたる春風亭柳橋のお宅があって、前座のころお手伝いに通いました。神楽坂の芸者さんがいるような料理店へ、連れてってもらったこともあります。新大久保へは、趣味のトロンボーンを修理に行くことも。演劇仲間と飲みに出かけるときは、ゴールデン街が多いですね。新宿区は、まちによってさまざまな個性があります。今も昔も雑多な雰囲気、そのなかには笑いや芸術、文化も多彩に内包している。だからこそ、唯一無二でおもしろい、魅力的なまちです。

interview

春風亭 昇太さん

落語に夢中になった新宿・末廣亭

昔ながらの建物そのままを残す末廣亭は、寄席らしさを色濃く残す貴重な場所ですね。足を踏み入れた瞬間から気分が高まっているからか、お客様の反応がいい。だから落語家にとって、やりやすいんですよ。

PRESENT

春風亭昇太さんのサイン色紙をプレゼント！
詳細はP.27をご覧ください



3名様

しゅんぶうていしやうた ●1959年静岡県生まれ。1982年春風亭柳昇に入門。1992年異例のスピードで真打に昇進。2006年テレビ番組「笑点」の大喜利メンバーに抜擢され、2016年5月には司会者に就任。演劇や音楽などの分野でも活躍。